

科目名：音楽理論-鍵盤を用いた実践的奏法-

氏名 八木 美砂子

【講義のねらい】

対象者との間に音楽を存在させるひとつの手段として、鍵盤楽器がある。楽曲の特徴をとらえ、シンプルな音やコードやリズムに置き換えると、楽譜から離れることができ、対象者への対応に気持ちを向けることができる。対象者の思いを受け止め、目的に応じて柔軟に音楽を変化させるためには何が必要なのかを考える。

【講義概要】

目的に応じて柔軟に音楽を変化させるための音楽理論を学ぶ

- ・ 音楽の特徴をとらえる
- ・ コードから主要三和音をとらえる
- ・ シンプルにして変化しやすくする
- ・ 対象者に合わせて変化させる
- ・ 対象者の表現が生きるよう支える

【教科書(テキスト)】

なし

【参考文献】

『音楽療法のための 即興演奏ハンドブック』若尾裕・岡崎香奈 音楽之友社

『音楽ってどうやるの』野村誠・片岡祐介著 あおぞら出版

『音楽療法で使う 即興・伴奏・作曲～初心者のための30日間マスター!』菅田文子著
あおぞら出版

『平田紀子のちょっと嬉しい伴奏が弾きたい』平田紀子 音楽之友社